※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、より良い暮らしについて考え、積極的に課題・実習に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習を通して協同して考え、理解を深め知識を身に付けます。多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の課題として捉え、より良い生活を目指しましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を科学的に理解し、自立した生活者に必要な技術知識・技能を身に付けている。	家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。	自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け、地域社会に参画し、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人生をつくる	1　人生をつくる ①「人生 100 年」時代を生きる ②一人で暮らす ③パートナーと暮らす ④子どもと暮らす・親を支える ⑤自分のライフスタイルを選ぶ 2　家族・家庭を見つめる ①家族・家庭をどう捉えるか ②社会の中の家族・家庭 ③家族と法律	a:人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めること。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫すること。 c:自らの生き方を見つめ、将来の生活に向かって目標を立て、展望をもって生活することの重要性を理解し、自分の目指すライフスタイルを実現するために、生涯を見通した生活を設計しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	子どもと共に育つ	1　命を育む 2　子どもの育つ力を知る ①子どもの育つ力 ②生まれつき持っている能力 ③身体の発達 ④心の発達 ⑤子どもと遊び 3　子どもと関わる 4　子どもとの触れ合いから学ぶ 5　これからの保育環境	a:乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。 b:子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察すること。 c:乳幼児との触れ合いや交流などを通じて、子供を生み育てることに主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	超高齢社会を共に生きる	1　超高齢・大衆長寿社会の到来 ①少子化・高齢化の進行 ②ライフステージとしての高齢期 2　高齢期の心身の特徴 ①老化と成熟 ②高齢期の健康と自立 3　これからの超高齢社会	a：高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けること。 b：高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察すること。 c：高齢者体験などの実践的な活動を通じて、高齢者の生活を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	衣生活をつくる	1　被服の役割を考える ①高校生と衣生活 ②被服の保健衛生的機能 ③被服の社会的機能 2　被服を入手する 3　被服を管理する 4　衣生活の文化と知恵 5　これからの衣生活	a：ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 　被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる。 b：被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫することができる。 c：目的や場所に合わせた着装や社会的慣習に基づいて、自己を表現する着装について考え、着用目的に応じた被服の選択と着装の工夫をしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期	食生活をつくる	1　食生活の課題について考える ①青年期の食生活の課題 ②「食べる」とは 2　食事と栄養・食品 3　食品の選択と安全 4　生涯の健康を見通した食事計画 5　調理の基礎 6　食生活の文化と知恵 7　これからの食生活	a:ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 　おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 b:食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫すること。 c:食生活に関わる情報を適切に判断し、生涯を通して健康や環境に配慮した安全な食生活を営もうとしている。	定期考査 レポート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	住生活をつくる	1　住生活の変遷と住居の機能 ①住居の機能と変化 ②平面図を理解する ③住居の計画 2　安全で快適な住生活の計画 3　住生活の文化と知恵 4　これからの住生活	a:ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる。 b:住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫することができる。 c:住生活に関わる基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、生涯を通して防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	経済生活を営む	1　情報の収集・比較と意思決定 2　購入・支払いのルールと方法 3　消費者の権利と責任 4　生涯の経済生活を見通す 5　これからの経済生活	a:家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解することができる。 b:生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察することができる。 c:自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	 ワークシート
	ホームプロジェクト	①ホームプロジェクトとは ②テーマ設定をしよう ③プレゼンテーション	a:ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解することができる。 b:自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することができる。 c:自己の家庭生活の中から課題を見いだし、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践しようとしている。	レポート	レポート プレゼンテーション	レポート プレゼンテーション ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度